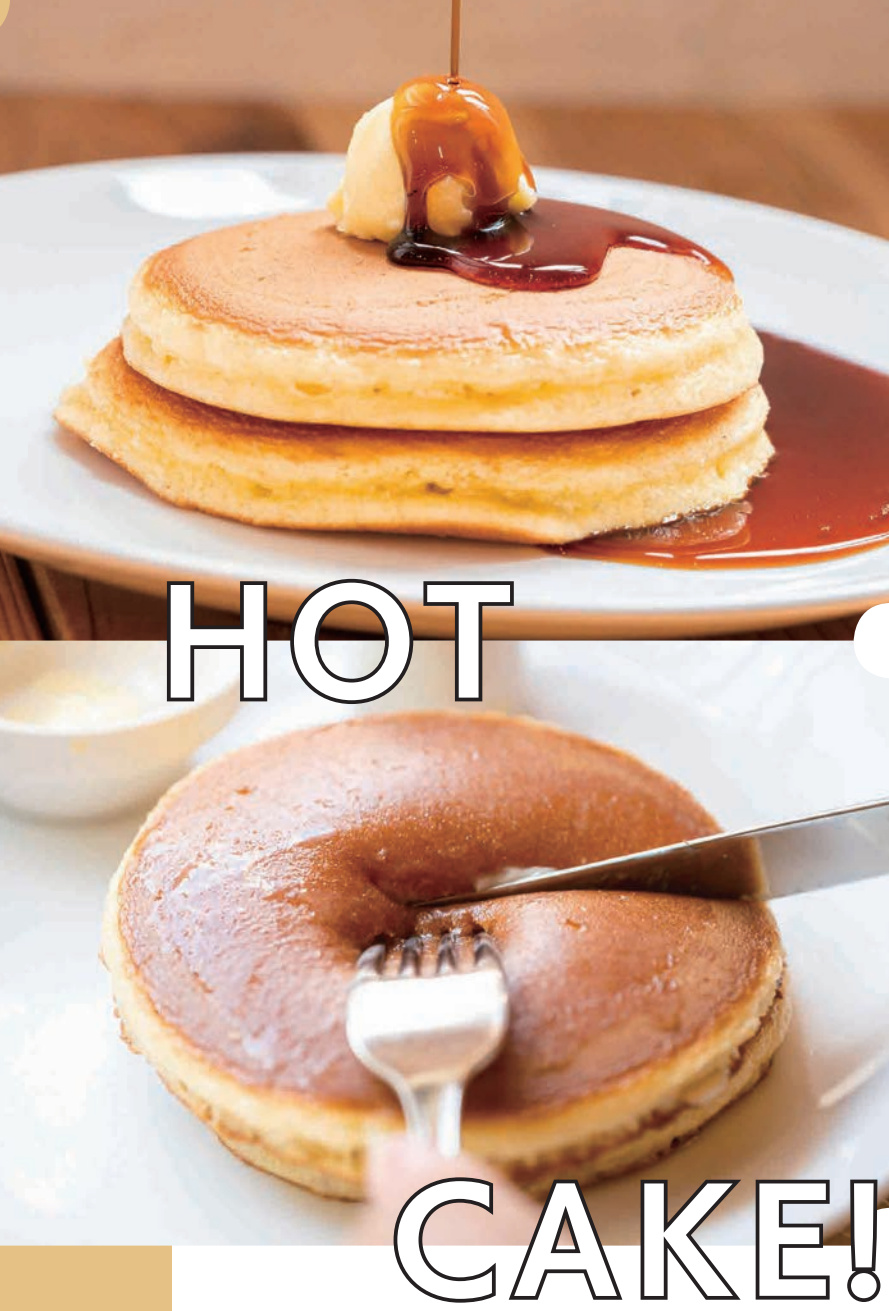




HOT CAKE!

シェフ直伝の焼きあがり

「Fru-Full」の其田秀一シェフに来ていただき、ホットケーキの仕込みから焼くところまで、丁寧におしえていただきました。

ホットケーキを焼く技術は、単純明快な作業に裏打ちされた、それゆえに奥深い職人技です。枚数を焼くことで、だんだんとキレイな形に整っていくそのプロセスを、見守っていただきました。



「Fru-Full」の提携会社 「株式会社研進」さんに行ってきました！

かの銅板を引き継ぐことが決まり、「さて、何から準備をはじめよう？」と考えたパブリコメイツは、まず「ホットケーキパーラー Fru-Full」と提携関係にある株式会社研進を視察しました。百聞は一見にしかず、です。

研進の社名は、「Honda（本田技研工業株式会社）」の「研」と「進和学園」の「進」を組み合わせたもの。神奈川県平塚市を拠点に、長年にわたり複数の障害者支援施設を運営する「社会福祉法人進和学園」の営業窓口会社として、Honda から受注する自動車部品の授産事業をはじめ、多彩な事業を展開しています。

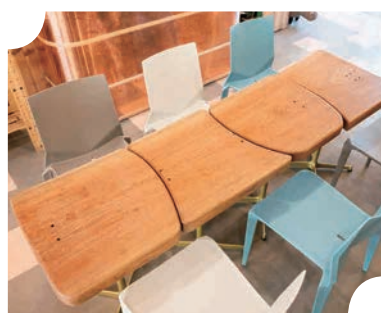
富士山を望む広い空の下に建つ施設には、障害や特性に応じて力を発揮できる工夫が随所に凝らされた自動車部品組立部門のほか、トマ

Publico ホットケーキ屋 さんになる!?

このごろパブリコはホットケーキを焼きはじめました！そこには、思いがけなくもパブリコらしいきさつが……。2年目いちばんのホットニュース、読んだらきっと、食べにきたくなりますよ。

Fru-Full（フルフル）から プレートがやってきた！

きっかけは、近所で長年愛された「ホットケーキパーラー Fru-Full 梅ヶ丘店」の一時閉店。そこで使われていた銅板プレートと厚いタブの木のカウンターを譲り受けました。銅板プレートは60cm四方、厚み30cm、重さは40kg近くもある大物。パブリコのキッチンに収まらなかったため、「タントブルー一級建築士事務所」の丹治健太さんに改装を相談。壁を曲面（アール）にする工夫で圧迫感を解消し、さらに壁の仕上げにも銅板を貼って、あたたかみのある丸いブースに。施工は近所の大工さんが苦勞しながら仕上げてくれました。



カウンターは テーブルにリメイク

完成してみると、不思議なくらい空間になじんでいて、「え？これ新しくできたの？」と気づかないひともいるほど。

タブの木のカウンターはテーブルとして再加工し、過去の痕跡を残すことで歴史を感じさせるデザインになりました。

ト&みかんジュース工房やパン工房も併設されています。多くの方が働く場でありながら、互いに心を通わせ合うあたたかな空気が流れ、中庭にはどんぐりの森、工場を出れば斜面一面のブルーベリー畑と、湘南の豊かな風土に包まれていました。

そして本番。「Fru-Full」さん監修のホットケーキを味わうため、平塚の観光スポット湘南平にあるカフェ「湘南リトルツリー」へ。「Fru-Full」のホットケーキは、昭和の文豪・池波正太郎が愛した「万惣フルーツパーラー」の味を受け継いだ逸品です。舌鼓を打ちながら、「この味をパブリコで提供できる日が来るのか……？」と胸を高鳴らせたパブリコメイツでした。



トータルベストが、いいんじゃない？

【対談】 いでなわ・たかし 出縄貴史さん（株式会社研進代表取締役） × いしやま・きょうこ 石山恭子さん（NPO法人子育て支援グループ amigo 理事長）

パブリコにホットケーキの銅板を譲ってくれた「研進」の社長・出縄貴史さんと石山恭子さんは、ホットケーキにはほかにはない「おいしさ」があると言います。どうやら、持続可能なソーシャルビジネスのヒントにもつながるようで……？

ホットケーキは象徴的な食べもの

いしやま 出縄さんは、パブリコがオープンしてすぐに来店されて以来、週2回ペースで立ち寄ってくださり、とても励みになっています。

出縄 自社の「湘南みかんぱん」などを食べてほしくて寄付したら、「神さま」と呼ばれたりしましたね（笑）。じつはパブリコの開設前に、「Fru-Full」の移転先としてこの物件を紹介されたんです。わたしたちには条件が合わなかったんですが、その後、子育て支援がベースの場ができた聞いて、孫を連れてきたら、すぐ居心地がよくて。すばらしい事業だなと思いました。

石山 わたし自身は、まだ大家族や地域のコミュニティが残るなかで育った世代ですが、東京で子育てをしてみたら、孤立や分断があり、つながりは人工的につくらなければならないのだと感じました。そこから子育て支援を10年、15年と続けるうちに、この関係・環境づくりは、子育て世代以外のひとにも、いま必要なんじゃないかと考えるようになり、パブリコをはじめたんです。

出縄 わたしたちの事業は、障害のある方の就労支援であり居場所づくりです。子育て支援とともに社会の大事な課題ですよ。おもに障害者支援施設を運営する「社会福祉法人進和学園」と、営業活動を行う「株式会社研進」とで役割分担し、さまざまな事業を行っています。ホットケーキパーラーもそのひとつです。「多様性」と「調和」を掲げ、お互いに違うひとたちが少しがまんもしながら歩み寄るなかで、ホットケーキって潤滑油としてすごくいいんですよ。丸くてやわらかくて、どこかつながしくて……。

石山 ホットケーキはそういうあたたかさの象徴のような食べものですよ。栄養としては必要ないかもしれないけれど、なんだか食べたくなる。からだに刻まれた記憶というのは長く残るもので、子どものときにだれかとホットケーキを食べた思い出が、その子の将来を支えることもあるかもしれない。パブリコは、立ち寄るひとが記憶を「書き」できる場でありたいので、ホットケーキはその媒



石山恭子（いしやま・きょうこ）
栃木県鹿沼市の商店街で育つ。国際線客室乗務員として勤務後、amigoのサロン利用を経てスタッフに。2007年より現職。2023年、スポーツウエルネス学修士取得。

* 民福連携……民間企業と福祉が連携すること。

介にもなると思っています。

チャレンジがサステナブルの秘訣！

いしやま でも、「Fru-Full」さんからホットケーキの銅板を譲り受ける話は、はじめは冗談かと思ったんです。それが現実的になったとき、すごく迷いました。パブリコも「稼ぐ柱」を増やさなければというときではあり、出縄さんには庭づくりで助けていただいた経験もあったので信頼できましたが、さまざまなリスクも想定され……。結局、そもそもパブリコ自体がチャレンジ的なことから、思い切って引き継がせていただきました。

出縄 うちもいろいろな事業を手がけていますが、ゴールが見えていて走り出したものはほとんどないですよ。育苗・植樹事業である「いのちの森づくり」も、どんぐり拾いに誘われたのをきっかけに苗木を育てたものの、まるで売れず、だっただらあげてしまおう、でも工賃だけは得たいと寄付を募ったら、植樹したいという企業さんが続くようになりました。

石山 研進さんの事業はとても多角的で、こういうふうにビジネスを成り立たせている会社があるのかと驚きました。

出縄 福祉の業界では「研進モデル」と言われています。公的資金に頼らないやり方ですね。創業した父が、「Honda（本田技研工業株式会社）」に勤めていたつながりではじめた方法ですが、結果としてサステナブルな経営ができています。わたしも長年民間企業に勤めた経験があり、20年前に引き継いだとき、自動車の部品製造だけに頼っているのはこの先きびしくなる、多角化を考えようと思ったんです。

福祉は公的資金に頼りがちですが、そこに依存してしまうと、制度や法律に縛られ、新しいことにチャレンジする気風が生まれにくくなります。とくにわたしたちのような就労支援系の事業では、民福連携も選択肢になると思うのです。経営ではスピード感を重視しているのも、助成金の報告書を書くのに時間をかけるより銀行に融資を頼んだほうが早いと考えますね。

good enough（必要充分）な 対価を得られるように

いしやま わたしたちは助成金にだいぶ助けられました。子どもを育てながらだったので仕事に専心することもできず、起業家だったら5年で到達するであろうところまで15年、20年かけていると思います。でも、だからこそいま、スタッフの層が厚くなっていると感じます。ひとりが全責任をもつのではなく、同じようなことをできるひとが何人もいます。

出縄 縦割りでないことは強みですよ。部門ごとにきっちり分かれて、それぞれで「ベスト」を



出縄貴史（いでなわ・たかし）
子どもの頃から「進和学園」に頼り込んで育つ。三井住友海上火災保険（株）に27年間勤務し、2005年より現職。手にしているのは自社の工場で製造するみかんジュース。

目指すと効率も悪くなります。うちでは自動車の部品をつくっているひとと農園の仕事をするので、外から来たひとには驚かれます。

赤字部門もありますが、全体でバランスがとれればいい。「トータルベスト」という考え方です。たとえば、陶芸部門は採算がとれていませんが、やめることはないでしょう。粘土をこねると、みんな目が輝きます。経済的な自立だけでなく、こころの自立も大事ですから。

石山 パブリコも、持続可能であれば右肩上がりでなくていいのですが、いままでの自分をちよつと超えてがんばったひとが、「good enough（必要充分）」な対価を得られるしくみをつくりたいと思っています。だから、2年目の目標は高く、「あまるほど稼ぐ」です！

出縄 「Fru-Full」もまた元の場所で再開しますから、コラボレーションを考えましょう。

石山 ホットケーキが冷めない距離です！



撮影／主生真理子